

変化に対応する組織マネジメント -変化が激しい時代に求められる経営-

対象	役員・部長クラス	ねらい	・変化しやすい、イノベーションにつながる組織づくりポイントを学ぶ ・自社の組織をどのように変化させるかを検討し、実行に移す
ありがちな課題	・変化が必要とわかっていても変化が遅い、変化が苦手な企業が少なくない ・新規事業をしているが、失敗が多い企業が少なくない		

時間	項目	内容	講義	討議	概要
9:00	将来の予測が困難な時代の経営を考える	予測できない出来事が起きる時代	○		新型コロナ、トランプ関税をはじめ、予測ができない変化が起きる時代に、どういう経営をすればよいのかを討議し、考える。
		変化が激しい時代に必要な経営とは		○	
		求められる「両利きの経営」	○		
10:30	イノベーションを起すマネジメント「エフェクチュエーション」	エフェクチュエーションとは	○		先が読めないスタートアップにて成功した経営者の思考様式であるエフェクチュエーションから、変化に対応するにはどういう組織マネジメントをすればよいかを学ぶ。さらに、自社を分析して自社の課題を確認する。
		5つの原則	○		
		ケーススタディ「伝統的な組織をどう変えるか」		○	
		自社を分析してみよう		○	
14:00	組織の葛藤を乗り越える	組織論の変化とパラドックスアプローチ	○		組織論の変遷から、組織には矛盾や葛藤がある方が健全であることを理解し、矛盾や葛藤の乗り越え方のケースを通して考える。
		ケーススタディ「新分野での葛藤を乗り越える」		○	
15:30	自社の改善プランを考える	変化できる組織にするために		○	変化の激しい時代に、自社はどういう組織マネジメントをすればよいのか、具体的にどういうアクションをとるべきかを検討する。
		討議、発表			
17:00	(終了)				